

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-86

補助事業名 平成24年度 航空機工業の標準化対応に関する調査研究等 補助事業

補助事業者名 一般社団法人日本航空宇宙工業会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

国連機関であるICAO (International Civil Aviation Organization)は、その下にCAEP (航空環境保全委員会) を設立し、航空機騒音、排出物 (窒素酸化物、二酸化炭素、煤) 等の航空機分野における規制強化の検討および策定を行ってきている。

上記規制やそれらの活動を通じた航空機燃費の向上に関する国際標準化活動に参画し、我が国航空機産業の技術力の向上及び国際競争力の強化を図り、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

① 国際会議への参画

- ・ Steering Group Meeting 参加 (MHI森合、IHI大石、SJAC飯島)
平成24年7月9日-13日 サンクトペテルスブルグ (ロシア)
- ・ CO2 Certification Experts Meeting参加 (MHI 中浜)
平成24年8月7日-10日 シアトル (米国)
- ・ CAEP WG3 参加 (MHI山本) モントリオール (カナダ)
平成24年10月8日-12日
- ・ CAEP 9 参加 (MHI森合、IHI大石、MHI 中浜、SJAC飯島)
平成25年2月4日-15日 モントリオール (カナダ)



- ・ CAEP WG3 参加 (MHI山本)
平成25年3月18日~22日 ボン (ドイツ)

② SJAC委員会等の開催

平成24年11月6日 SJAC CAEP委員会開催

③ SJAC 講演会 「ICAOの環境規制への取り組み Green Aviationの実現にむけて」

平成24年10月11日 ポートメッセなごや（JA2012会場）および11月6日 SJAC会議室にて実施した。

2 予想される事業実施効果

CO2排出基準の検討活動に継続して参画することができ、国際的な合意形成まで進めることができた。CO2に関してはCAEP10サイクル(2013年～2016年)で具体的な規制値の設定が論議される。一方 さらに強化される航空機騒音、窒素酸化物、および粒状物質への検討にも参画し、幅広い情報の共有と産業界への提供ができた。CAEP10をめざして、上記航空機排出基準の検討・設定等の活動に参画することで日本の航空産業界として世界に引き続き貢献する。

3 本事業により作成した印刷物等

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： （一社）^{ニホンコウクウチウウコウギョウカイ}日本航空宇宙工業会

住所： 〒107-0052（半角）

東京都港区赤坂1丁目1番14号

代表者： 会長 ^{ハセガワ}長谷川 ^{サトシ} 聡

担当部署： ^{ソウムフ}総務部

担当者名： 部長 ^{オオノ}大野 ^{ジュン} 潤

電話番号： 03-3585-0511

F A X ： 03-3585-0541

E-mail ： j-ono@sjac.or.jp

U R L ： <http://www.sjac.or.jp>